

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
15	東京純心大学	リトミックⅣ	平島 美保 現代文化学部 非常勤講師	1	後期	木	15	13:00～14:30	東京純心大学	5

#### 【到達目標】

- 1 音楽を分析することができる。
- 2 和音の響きを聴き分け、音楽の内面的な要素であるニュアンスを体得し、それを表現できる。
- 3 仲間とコミュニケーションを取りながら作品を作り上げることができる。

#### 【授業の概要】

幼児教育や音楽療法の分野で応用されているリトミックは、無意識に身体が音楽に反応しているという特性を意識化し強化することにより、人間の内側にある何かを揺さ振り、覚醒させ、感性・感覚に刺激を与える。特に幼児期には知識が先行する前に行うことが、より効果を上げる。音楽の諸要素を応用し、幼児教育、保育の現場で、子ども達と共に行える表現活動、また、子どもに喜び、楽しさを伝える音楽を媒体とした様々な活動を「動き」「楽器」「歌」「ストーリー」を用いて研究し、「音色」「響き」に対する意識化を深め表現する。子ども達と一緒にできる音楽活動を考え実践する。これらの活動を通して、仲間とのコミュニケーションを更に深め、ともに何かを作り上げ、達成感を体験する。

#### 【授業内容】

1. ・授業に臨む心構えと授業内容についてのガイダンス  
・2 分割拍を用いたリズムアンサンブルによる演奏  
(1) 譜読み
2. ・2 分割拍を用いたリズムアンサンブルによる演奏  
(2) アンサンブルの練習と発表
3. ・子どもと一緒に楽しめる『こどものうた』による音楽劇の作成と表現活動  
(1) 歌のストーリーの流れによる 6 つの場面についてディスカッションする
4. ・子どもと一緒に楽しめる『こどものうた』による音楽劇の作成と表現活動  
(2) 1～3 番の歌詞・メロディの理解と動きの作成
5. ・子どもと一緒に楽しめる『こどものうた』による音楽劇の作成と表現活動  
(3) 4～6 番の歌詞・メロディの理解と動きの作成
6. ・子どもと一緒に楽しめる『こどものうた』による音楽劇の作成と表現活動  
(4) 作成した音楽劇の通し練習と発表
7. ・ザイロフォン、メタルフォンを用い、長 3 和音、短 3 和音の響きと共に、詩集「のはらうた」の表現活動  
(1) 和音の説明と和音の作成
8. ・ザイロフォン、メタルフォンを用い、長 3 和音、短 3 和音の響きと共に、詩集「のはらうた」の表現活動  
(2) 長 3 和音を用いて、「のはらうた」より『てんてん』の表現活動
9. ・ザイロフォン、メタルフォンを用い、長 3 和音、短 3 和音の響きと共に、詩集「のはらうた」の表現活動  
(3) 短 3 和音を用いて、「のはらうた」より『あきのひ』の表現活動
10. ・ザイロフォン、メタルフォン、鍵盤ハーモニカを用い、長 3 和音、短 3 和音の響きと共に、詩集「のはらうた」の表現活動  
(4) 選択した「詩」へ長 3 和音、または短 3 和音を用いて表現
11. ・ザイロフォン、メタルフォンを用い、長 3 和音、短 3 和音の響きと共に、詩集「のはらうた」の表現活動  
(5) 発表に向けて練習及び、発表
12. ・「効果音、音楽を用いて語る物語」の制作  
(1) 物語の選択とシナリオ作成
13. ・「効果音、音楽を用いて語る物語」の制作  
(2) 挿入する音楽の作成と効果音探し
14. ・「効果音、音楽を用いて語る物語」の制作  
(3) 音楽を完成させ、挿入する効果音を用いた流れの確認と練習
15. ・「効果音、音楽を用いて語る物語」の制作  
(4) 発表に向けての練習、及び発表

#### 【成績評価方法】

グループで行う「動き、表現」の作品、提出物、グループ活動における参加度(平常点)で評価する。  
動き、表現活動作品 80%、提出物 10%、平常点 10%

#### 【教科書】

特になし。必要に応じて資料を配布する。

#### 【参考書、教材等】

必要に応じて授業内で紹介する。

※ この授業は、9/30(木)が初回です。